

絶望の先に本当の希望があった。

世界で いちばん美しい村

ネパール大地震の震源地に向かった写真家が出会ったのは

愛と祈りと絆で結ばれた

世界でいちばん美しい人々が住む村だった

平成 28 年度 文部科学省選定ドキュメンタリー映画

写真家石川梵 初監督作品

監督・撮影：石川梵 ナレーター：倍賞千恵子

エグゼクティブプロデューサー：広井王子 プロデューサー：石川梵

編集：簗輪広二 編集協力：道正由紀 音楽：Binod Katuwai *はなおと*

主催：「世界でいちばん美しい村」三重上映会実行委員会

後援：三重県教育委員会 津市教育委員会 三重県商工会議所連合会

三重県経営者協会 津商工会議所

大地震を乗り越えて、強く生きる。
家族と人々の絆を感じるあたたかな日常。

そこには、忘れていた人間本来の生き方があった。

2015年4月、約90000人の犠牲者を出したネパール大地震。写真家・石川梵は震災直後、ジャーナリストとして初めて現地へ入り、ヒマラヤ奥地の震源地・ラブラック村にたどり着いた。壊滅した村で石川はひとりの少年と出会った。澄んだ瞳をした、14歳のアシュバドル。彼の村を想う気持ちに石川もまた思いを寄せ、別れ際、二人はふたつの約束をした。ひとつは、また村に戻ってくること。そしてもうひとつは、この孤立した村の惨状を世界に伝えること――。



監督は、写真家でありノンフィクション作家の石川梵。これまでに「伊勢神宮、遷宮とその秘儀」「海人」「The Days After 東日本大震災の記憶」など多くの作品を手がけてきた。そして2015年、大地震直後のネパール取材したことをきっかけに本作にて自身初のドキュメンタリー映画を製作した。ナレーションは、東日本大震災からいまなお、復興活動に参加する女優、倍賞千恵子。壮大なヒマラヤを背景に圧倒的な映像美とカメラワークで綴った叙事詩的物語。



ゴルカ郡ラブラック村

ネパールの首都カトマンズから北西77キロ地点にある。その至近距離に位置するゴルカ郡ラブラック村は、標高2200メートルの傾斜地にあり、その人口は約4,000人。現在は、震災の影響により、地盤が緩み、生活が困難になってしまったため村人の大半はグブシ・パカと呼ばれる、徒歩で1時間半登った標高2700メートルの高地でキャンプ生活を送っている。



日時：2017年9月23日(土) (昼の部) 開場 13:00 / 上映開始 13:30 (夜の部) 開場 16:30 / 上映開始 17:00

会場：三重県総合文化センター小ホール 三重県津市一身上津部田 1234 <http://www.center-mie.or.jp/>

津駅西口バス停「総合文化センター行き・夢が丘団地行き(系統番号 89)」乗車 バス停「総合文化センター前・総合文化センター」下車すぐ

料金：前売り 大人 1,800 円/大学生 1,500 円/高校生 1,200 円/小・中学生 1,000 円/障害者割 1,000 円(付添 1 名まで同料金)全て税込

●三重県総合文化センターチケットカウンターで前売券発売中！●銀行振込による前売券購入・前売券郵送サービスをご希望の方は実行委員会までご連絡ください

●当日券有(但し前売りで完売する可能性がありますので事前にお問合せください)●未就学児入場不可●昼の部託児サービス有(要事前予約)●全席自由席・昼夜入替制

問合せ先：「世界でいちばん美しい村」三重上映会実行委員会

mie.sekautsu@gmail.com 090-2774-1020

上映後、監督トーク&挿入歌デュオ*はなおと*ミニライブ(上記料金に込)